

あいご会報

2024年5月発行
No.340



フェイスブック ホームページ

新年度のご挨拶

障がい者支援施設 しりべし学園成人寮

施設長 遊部真澄

日に日に春の訪れを感じられるような陽気となり、桜の季節も近づいてまいりました。皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当法人、事業所へのご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度の両拠点共通テーマとして「原点・初心に立ち返り、幸せの微笑みがあふれる支援を提供しよう」を掲げ、事業所全体が笑顔であふれる取り組みをしていきたいと思っております。また、虐待防止や権利擁護についても引き続き職員意識向上を図り、意思決定支援をはじめ、心の声にも耳を傾け、利用者・ご家族から信頼をいただけるよう、適切な支援の提供を図ってまいります。

コロナ対策も緩和され、いろいろな事が動き始めています。状況ですが、基本的な感染対策をしっかりと行い、ご家族との連絡を密にしながら、安心・安全な施設生活の継続に取り組んでまいります。ご協力、感染対策へのご理解をお願い申し上げます。今年度も変わらぬご指導、ご協力、感染対策へのご理解をお願い申し上げます。年度初めの挨拶とさせていただきます。

福祉型障がい児入所施設 しりべし学園

施設長 富樫孝貴

寒暖差が激しかった今年の冬でしたが黒松内町も雪解けが進み、春のやわらかな日差しが増えてまいりました。ご家族の皆様ならびに関係機関の皆様におかれましては、平素より当施設運営に對しまして、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年五月に新型コロナウイルスも五類に移行し様々な制限も緩和されてきました。近隣町村ではいまだ新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症が発生するなど、まだ安心できる状況ではありません。そのような中ではあります。当施設では基本的な感染対策を徹底しながら、スポーツ大会への参加や様々な余暇活動、行事なども少しずつ再開してまいりました。今年度はさらに、利用者の皆さんの意向を聞きながら行事や余暇活動を充実させ、日々の生活に変化を与え、潤いのあるものとしていきたいと考えております。

また、三月には四名の利用者が当施設を退所し、それぞれが期待と不安が入り混じるなか大人としての生活をスタートさせました。四名の皆さんが新天地でより一層、健やかに成長することを願うとともに、在籍している皆さんが学校や地域の中でたくさんのことを経験し、しりべし学園で生活していく中で持っている力を存分に発揮し、成長していくことができよう利用者支援に努めてまいります。さらに、福祉の業界も様々な関連法律の改正や、物価の高騰、人材難など課題は山積ですが、関係機関との連携をより一層強化するとともに、職員同士もお互いを理解し、認め合い、活かし合うことを心がけ、チーム一丸となり充実した利用者支援に努めてまいります。

結びになります。今後とも皆様の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。新年度のご挨拶とさせていただきます。

新入職員紹介

6名の新入社員が配属されましたので、どうぞよろしくお願いいたします。



児童棟 工藤 歩未(くどう あゆみ)

今年度からしりべし学園で勤務させていただきます。ご家族の皆様が安心できるよう、子どもたち一人ひとりの理解と適切な支援を目指します。よろしくお願いいたします。



児童棟 和賀 拓海(わが たくみ)

今年度から、しりべし学園児童棟で児童指導員として勤務させて頂くことになりました。子どもたちの笑顔と健やかな成長の為に寄り添える支援が出来るよう精一杯努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



児童ディ 佐藤 亜美(さとう あみ)

一日も早く仕事に慣れ、子どもたちにデイに通うことが楽しみだと思ってもらえるように、そして保護者の方に信頼して頂けるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



児童ディ 嶋 美菜穂(しま みなほ)

笑顔で元気に働きます。子ども達とたくさん遊び、たくさん笑い、一緒に楽しみます。至らぬ点が多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



成人寮 石谷 梨子(いしや りこ)

今年度より、しりべし学園成人寮で勤務させて頂くことになりました。利用者の皆さんの生活が充実したものになるよう、日々努めようと思っておりますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。



セオス 小林 繁信(こばやし しげのぶ)

今年度から、職業指導員として勤務させて頂くことになりました。笑顔で仕事に取り組んでいき、利用者さん一人一人に寄り添った支援を目指して精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

退職 今までお世話になりました 児童棟…千葉 万凜・田中真稀・菊地 涼音 男子棟…高田 真良

オンライン面会予約受付中

- (1)面会時間: 13:30~16:30 (土・日・祝日のみ) お一人様15分程度
- (2)対象者: しりべし学園・しりべし学園成人寮 入所者様 (3)面会ツール: LINE
- (4)予約手順
- ①、お名前、電話番号 (もしくはLINE ID) をお知らせください。②、オンライン面会の希望日、時間帯をお知らせください。③、面会日が決まりましたら折り返しご連絡いたします。
- ※ご不明な点があれば、学園は茂木・吉岡、成人寮は児玉までご連絡ください。

職員募集



私達と一緒に働きませんか?
楽しいお仕事です。

ご応募お待ちしております!!

当事業所では、職員を募集しております。ご興味のある方は、裏面の連絡先まで、ご連絡ください。



フォトコーナー



伊達高等養護学校(3月8日)、余市養護学校しりべし学園分校(3月9日)の卒業式が行われ、合計8名が卒業されました。4月から社会人や進学する方もおり、それぞれの道に進んでいきます。がんばってください。

ミニ雪まつり

ミニ雪まつりが2月17日に行われました。当日の天気は晴れ、たくさん笑顔を見る事が出来ました。雪合戦をしたり、雪だるまを作ったりとそれぞれの利用者さんの楽しんでいる様子が見られていました。



入学式

伊達高等養護学校(4月9日)、余市養護学校しりべし学園分校(4月8日)の入学式が行われ合計4名が入学されました。新しい制服に袖を通し新たな気持ちで過ごしていく事になります。生活環境も変わり、慣れない事も多くなりますが学び多き年になると思います。

2024年度 予算・事業計画

福祉型障がい児入所施設 しりべし学園

単位:千円

科目	予算額	科目	予算額
児童福祉事業収入	113,842	人件費	87,043
障害福祉サービス事業収入	51,583	事業費	39,834
その他の事業収入	20	事務費	21,423
借入金利息補助金収入	0	支払利息支出	0
経常経費寄付金収入	64	その他の支出	110
受取利息配当金収入	40	施設整備等支出	13,690
その他の収入	164	積立資産支出	2,000
施設整備等収入	0	拠点区分間繰入金支出	7,000
積立資産取崩収入	10,900		
拠点区分間繰入金収入	1,000		
収入合計(1)	177,613	支出合計(2)	171,100
		予備費(3)	0
		当期資金収支差額①=(1)-(2)-(3)	6,513
		前期末支払資金残高②	75,679
		当期末支払資金残高①+②	82,192

今年度は措置入所15名と契約利用8名の合わせて23名でのスタートとなる。ここ数年で障害児入所施設の減少により、道内はもとより、道外からも入所の打診が来る状況である。しかし、現状の職員体制と設備環境の中では受け入れが困難と判断せざるを得ないケースが多く、定員を満床にできない状態である。そのような中でも、福祉型障害児入所施設に求められている機能(発達支援、自立支援、社会的養護、地域支援)を理解するとともに、利用者個々の障がい特性を把握し、意思決定支援や権利擁護意識も高めながら支援の充実に努める。また、利用者個々に合った進路を見出すことができるよう、関係機関との連携をより一層強化する。「感染症の予防及びまん延防止のための指針」を策定し、引き続き感染対策を徹底し、安心して安全な生活支援を実践するとともに、利用者の声に耳を傾けニーズを把握し、行事や余暇活動の充実に努める。さらに、法人人事部とも連携し職員確保に努めるとともに、良いチームワークの中で職員の定着、育成に努めます。

児童デイ・サービス事業 南後志児童デイ・サービスセンター

三町村ともに子どもは減少しているが療育のニーズは高まっており、個別療育を中心にしながらも小集団療育も取り入れながら、より一層の療育活動の充実に努める。そのような中で今年度はスタッフ1名が産休に入り、2名の新しいスタッフが加わることから、担当ケースをスムーズに移行し、保護者との良好な関係を構築できるような職員間の連携を密にし、相談しやすい体制を整えていく。また、療育環境の整備に向けては黒松内町と法人本部の検討が進むまで、既存の設備を可能な範囲で整備しながら使用していく。人材確保についても入所施設同様、法人人事部と連携し確保に努める。

障がい者支援施設 しりべし学園成人寮

単位:千円

科目	予算額	科目	予算額
就労支援事業収入	17,000	人件費	178,950
障がい福祉サービス事業収入	324,864	事業費	76,603
経常経費寄附金収入	400	事務費	44,718
受取利息配当金収入	705	就労支援事業支出	16,530
その他の収入	2,505	支払利息支出	0
施設整備等補助金収入	0	その他の支出	1,180
積立資産取崩収入	31,000	設備資金借入金元金償還支出	670
拠点区分間繰入金収入	0	固定資産取得支出	33,000
		ファイナンスリース債務返済	1,474
		積立資産支出	4,197
		拠点区分間繰入金支出	3,644
		その他の活動による支出	0
収入合計(1)	376,474	支出合計(2)	360,966
		予備費(3)	0
		当期資金収支差額①=(1)-(2)-(3)	15,508
		前期末支払資金残高②	167,314
		当期末支払資金残高①+②	182,822

2024年度は施設入所59名、生活介護54名(通所3名含む)でのスタートとなる。昨年度、生活介護・施設入所ともに定員を減員したことで基本報酬単価、常勤看護職員配置加算単価が上がるようになったが、今回の報酬改定において、より地域移行が鮮明となり、生活介護では障害支援区分による報酬単価から、営業時間ごとの報酬単価に変更、施設入所では、地域移行関連の報酬加算が手厚く、地域移行により定員数が減った部分の手当をすることにより、反対に「51人~60人」「71人~80人」定員の報酬単価が下がった結果となり、事業所の運営にも影響が与えることが予想される。昨年度の虐待が疑われる事案の発生を鑑み、利用者の意思決定の支援・権利擁護の遵守など、虐待の根絶に重点を置き、セオス、いずみ、学園と協力しながら、研修や巡回を行い不適切な支援・虐待「0」に向けて一層力を入れて取り組む。また、預り金の管理体制をしっかりと整え、手数料の徴収に踏み切る。高齢化に伴う障がいの重度化は著しく、健康管理、健診の重要性に鑑み、障害のある方々への健診体制の拡充と職員の介護技術の習得を目指していく。また、歯科医及び歯科衛生士と連携して、利用者の適切な口腔ケアに努める。人材確保については、人材センターと協力した日本人職員の確保を基調に、外国人の入れ替わりを視野に入れ、切れ目のない受け入れを行い、利用者支援に支障のないように手配したい。日中活動の更なる充実を目指し、利用者さんに喜んでもらえる活動に取り組んでいく。また、地域貢献事業でもある「ふれあい祭り」も有観客での実施を目指していきたい。コロナ感染予防として基本的な感染対策を実施し、持続可能な事業所運営を行っていく。

就労継続支援B型事業 しりべしワークセンターセオス

高齢化、重度化による高齢者施設への移行等により、2024年度は余市養護学校しりべし学園分校から1名を新規で受け入れ、27名でのスタートとなる。利用者が高齢化により、作業効率の低下が見られるため、作業内容の細分化、分業化を進め、利用者の状況に応じた作業の提供を図り、利用者の体力、モチベーションの維持に努め、商品の質の向上や製品のPR等から新規顧客の開拓に繋げ、工賃の向上につなげたい。また、若い世代の新規利用のため、関係機関や養護学校等と情報を共有していく。町民から好評を得ている花の無料配布はふれあい祭りを考えているが、コロナの状況により流動的に対応する。花の無料配布のほか、地域貢献3事業については継続して実施していく。コロナ感染予防として基本的な感染対策を実施し、持続可能な事業所運営を行っていく。

共同生活援助 いずみホーム

高齢者施設移行に伴い、2024年度は21名でのスタートとなる。成人寮入所支援からの移行は数年来ない状態であり、外部からの入所も見込めていない。利用者が高齢化が著しく、健康管理の重要性が高まっている中、高齢利用者が暮らしやすい環境整備を進めていく。また、他の福祉サービスの利用等、利用者の意向に沿った次のステップや今後のグループホームの在り方等、継続的に協議していく。自治会活動についても、体力や能力に応じた活動を行っていく。地域貢献1事業については継続して実施していく。コロナ感染予防として基本的な感染対策を実施し、持続可能な事業所運営を行っていく。

特定相談支援事業 黒松内つくし園特定相談支援事業所

基本的にしりべし学園成人寮及び後志リハビリセンター利用者の計画相談を実施していく。年2回のモニタリングを確実に実施し、利用者の意向を反映したサービス等利用計画書作成に努める。

しりべしワークセンターセオス営業種目

- クリーニング課** クリーニング全般
- 園芸課** 花苗・野菜苗・椎茸・しめ縄・和紙・ポストカード 切り絵・消しゴムハンコ
- 印刷課** 名刺・封筒・用紙類・伝票・製本・挨拶状・大判プリント・パンフレット・各種案内状・年賀状 など

セオスではお客様のご利用をお待ちしております。お気軽にご相談ください。



広報委員会では年4回「あいご会報」を発行しております。見やすい広報誌を作成して参りますので、1年間よろしくお願いたします。

編集：(社福)黒松内つくし園/しりべし学園・しりべし学園成人寮広報委員会
 TEL.0136-72-3173(児童棟)・0136-77-2950(成人寮)・FAX.0136-72-3952
 北海道寿都郡黒松内町字黒松内565番地2 ホームページ <https://tsukushien.or.jp/>
 構成・印刷：(社福)黒松内つくし園/しりべしワークセンターセオス 印刷課
 TEL・FAX.0136-72-3820(印刷課) ※広報誌の構成・印刷・梱包を承ります!